



新たに災害協定を 締結しました

災害時に必要となる資材の提供等に関する協定を次のとおり締結しました。

締結先

- ① セツカートン株式会社様
- ② 株式会社豊公石油様
- ③ 海部東農業協同組合様

協定概要

- ① 災害時等における避難所生活等に必要な簡易ベッド等の調達
- ② 災害応急・復旧対策活動に必要な石油燃料の安定的な供給および災害時の石油燃料の確保のための備蓄
- ③ 災害が発生し、または発生する恐れがある場合において、物資の供給、物資受入所の提供等

地域を守る消防団に あなたの力を！

町内の火災時の消火活動などで、重要な役割を果たしている消防団は、郷土愛護の精神に基づいて町内在住の方で構成されています。消防団員は、各自の職業に従事しながら、火災発生などの非常時には本来の仕事を投げうって被害を最小限に食い止めるため献身的な活動を行っています。

火災発生時に消防署が素早く駆けつけ消火することは知られていても、消防団の活動はあまり知られてはいません。火災の鎮火作業は当然消防署が主導しますが、付近一帯の交通や人の整理、鎮火後の警備や見回りなどには消防団がなくてはならない重要な役割を果たしています。

また、年間を通しての活動や季節ごとの火災予防の巡回広報

や特別警戒、町や地域主催の各種行事への参加など、広範囲にわたって活躍しています。その他、地震などの自然の災害が発生した場合、河川の氾濫などに対応する水防団としての任務も併せ持つ極めて重要な職責を担う団体です。

しかし、近年団員の高齢化や若い方の敬遠などにより、各地域の団員確保が難しくなってきました。いざ、災害が発生したときは、その地域内の方々の助け合いや協力が必要となり、地域防災のリーダーである消防団がなくてはならない存在です。



●安全で快適なまちづくりの ためにあなたの力を！

今年も、消防団の方々が団員の勧誘に各地区のご家庭を訪問することがあると思いますが、消防団の趣旨をご理解いただき、ぜひとも消防団の活動に参加していただきますようお願いいたします。

問合せ先

役場 防災危機管理課
内線151・152

町消防団出初式

消防団員の士気の高揚と防火思想の普及を図ることを目的として出初式を行います。

とき 1月15日(日)午前9時30

ところ 大治中学校



●火災の発生しやすい季節です

冬は、空気が乾燥し、暖房器具を使う機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすくなります。日ごろから以下の点に注意するようにしましょう。

- ・外出時や寝る前には、必ず火の元を確認しましょう。
- ・暖房器具はコンセントにほこりが付かないよう掃除するなど、定期的に点検を行いましょう。
- ・暖房器具などの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ・子どもの火遊びに注意しましょう。

防災豆知識

「非常持出袋の準備はできていますか？」

災害時には、状況によっては1分1秒が生死を分けるようなことがあります。この際、押し入れや物置の奥に非常持出袋が入っていると持ち出すのに時間がかかります。何かあってもすぐに持

ち出せるように、玄関脇や廊下あるいは物置の手前の方など、直ちに持つていける場所で保管しましょう。寝ているときに地震や火事が発生するかもしれないので、枕元に置いておくことも有効です。

寒い日が続きますが、このような季節には、防寒着や使い捨てカイロなども忘れずに準備しておきましょう。



防災行政無線 電話応答ダイヤル

町が防災行政無線で直近に放送した内容を専用ダイヤルで聴くことができます。ぜひご活用ください。

☎(444)2121

町長が自動走行車の体験試乗会に参加しました

現在、あま市では、七宝焼アートヴィレッジで、市のPRや自動走行への理解を深めることを目的に「産官学連携自動走行実証実験促進事業(あま市モデル)」を実施しており、その一環として、昨年11月19日(土)に自動走行車の体験試乗会を開催しました。

当日は、AOKT(あま・大治・蟹江・飛島)の首長が来賓として招かれ、本町の町長も試乗し、最先端のテクノロジーを体感してきました。

